

# 安全データシート(SDS)

## 1.【製造者情報】

会社名 三喜工業株式会社  
住所 千葉県千葉市中央区今井 1-4-16  
担当部門 技術部  
電話番号 043-262-8100  
FAX番号 043-263-2638  
緊急連絡先 043-262-8100

作成 平成 29 年 1 月 14 日  
改定 平成 29 年 7 月 03 日

整理番号 HM0121Z-05

---

製品名 : SN-1300 補強入りフッ素ゴム

---

### 推奨用途及び使用上の制限

本製品は、一般工業用用途向けに開発・製造されたものです。食品・医療・その他特殊な用途にご使用の場合は、貴社にてその用途での安全性をご確認の上、ご使用下さるようお願いいたします。

---

## 2.【危険有害性の要約】

本製品は硬化物であり、単離はされないが、含有されている物質に関する危険有害性を示す。  
本製品に含有している : カーボンブラック  
物質

### GHS分類

物質的・化学的危険性	:	区分外 / 分類対象外
健康に対する有害性	:	発がん性 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 区分2(呼吸器系) 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) 区分2(呼吸器系・腎臓)
環境に対する有害性	:	分類できない

GHSラベル要素



### 警告

H351 発がんのおそれ  
H371 呼吸器系の障害のおそれ  
H373 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害のおそれ

---

### 3.【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：フッ素ゴムを主成分とする硬化物と合成繊維の複合体

成分名(一般名)	含有量(%)	CAS No.	化審法 No.	該当法規制
合成繊維	50～60			
硬化物中 カーボンブラック	1～10	1333-86-4	—	(安)

### 4.【応急措置】

- 吸入した場合：粉塵や繊維屑、蒸気、ガス等を吸い込んだ場合には、直ちに通気性の良い場所へ移して静かに休養させ、咳や頭痛、吐き気の自覚症状があるならば、医者の治療を受ける。
- 皮膚に付着した場合：付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼で良く洗い流す。湿疹や炎症の兆候が見られるならば、医者診療を受ける。
- 眼に入った場合：大量の水で直ちに洗い、速やかに眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：飲み込んでいても害はないが、異常があれば医師の処置を受ける。

### 5.【火災時の措置】

- 消火剤：一般火災用(粉末、泡、二酸化炭素)、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤：特になし
- 火災時の特有の危険有害性：燃焼により不快で有毒な煙霧が発生する。
- 特有の消火方法：関係者以外は安全な場所に避難させる。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。消火活動を行う際には風上から消火すること。周辺施設に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護：時給式呼吸装置と保護服を着用する。消火後の掃除中はクロロプレン製の手袋を着用するとよい。

### 6.【漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項 / 保護具及び緊急措置：適切な保護具(手袋、保護マスク、ゴーグル等)を着用する。
- 環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。繊維は生分解性が無いので排水口に流さないこと。
- 封じ込め及び浄化の方法 / 機材：飛散したものをかき集め、適当な容器に回収する。
- 二次災害の防止策：付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。火花を発生しない安全な器具を使用する。

### 7.【取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い：通常貯蔵や取扱いにおける暴露によって、重大な健康障害を起すことは報告されていない。例えば、研磨したり、加熱したりすると様々な成分のヒュームや蒸気が発生する事がある。ヒュームや蒸気が高濃度になったときは、刺激や上記の健康障害を生ずることがある。適切な局所排気装置を使用する。
- 摂取防止：摘要しない。
- 爆発防止：熱、火花、裸火、その他発火の危険のある物から遠ざける。

設備対策	: 適切な局所排気装置を使用する。換気が十分でない場合には適切な呼吸保護具を使用する。
保護具、個人防護	: 呼吸保護具 熱分解した物質の吸入は避けること。汚染物質の空気中の濃度に基づいた検定済みの呼吸保護具を選択すること。 半面送気型マスク 保護眼鏡 熱分解した物質の眼への接触を避けるために、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。 保護手袋 熱している材料に触れない事。火傷を防ぐ為にこの物質を取り扱うときは適切な手袋を着用する。 保護衣 適切な保護衣を着用する。
保管	: 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。 容器は直射日光や火気を避けること。 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

## 8.【暴露防止及び保護措置】

[カーボンブラック]

許容濃度	: ACGIH; 3mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)
設備対策	: 十分な換気を確保する。 吸収性ダストを除去するため、循環空気はろ過しなければならない。適切な局所排気装置と集塵装置を使用する。換気が十分でない場合には、適切な呼吸保護具を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 製品が200℃以上に加熱され、生ずる分解生成物中に人体がばく露される場合は有機酸性ガス用防毒マスク(場合によってはエアラインマスク)を使用する。
手の保護具	: 材質ニトリルゴム、製品が315℃以上で使われる場合は、表面にひどい火傷を引き起こすフッ化水素の凝集物を含む。その場合はネオプレン製の手袋を着用する。接触後、皮膚を洗浄する。
眼の保護具	: 保護眼鏡(則板付普通眼鏡型、ゴーグル型)。熱分解した物質の眼への接触を避けるために、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて、作業着、安全靴等を使用する。
適切な衛生対策	: 作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。 熱い製品から放出された煙霧(ヒューム)を吸引しない。

## 9.【物理的及び化学的性質】

外 観	: ゴム状固体と合成繊維との複合体。
色	: 黒色
臭 い	: 無臭
比 重	: 約1.57
沸 点	: 適用外
引火点	: >204℃
蒸気圧	: 適用外
蒸気密度	: 適用外
爆発限界	: 適用外

## 10.【安定性及び反応性】

安定性・反応性	: 通常の取扱いにおいて安定。
危険有害可能性	: 強酸化剤、強酸、強塩基
避けるべき条件	: 加工処理温度 >200℃ 推奨される加工処理温度以上で、長い時間過熱をしない。 熱、光、高温、火災やスパーク等の着火源となるもの
混触危険物質	: 金属粉、アルミニウム微粉末、アルカリ金属、アルカリ土類金属
危険有害な分解生成物	: フッ化水素、フッ化カルボニル、フッ化炭化水素、フッ化オレフィン

---

## 11.【有害性情報】

### 製品（熱分解した場合）

健康に対する影響	: 燃焼した時に生ずるヒュームを吸入すると、一時的に熱、悪寒、咳といった、インフルエンザに似た症状のポリマーヒューム熱を生じる恐れがある。場合によっては一昼夜継続することがある。皮膚から吸収されることは無く、感作性に関する報告はない。
フッ化水素の影響	: 低濃度のフッ化水素を吸入すると、まず息苦しくなり、咳が出て、眼、鼻及び咽頭に重度の刺激を生じ、熱、悪寒が1～2日続く。その後、呼吸困難、チアノーゼ及び肺水腫が起こる。フッ化水素に高濃度で曝露されると肝臓及び腎臓を損傷する。
フッ化カルボニルの影響	: 皮膚-不快感又は発疹を生ずる。眼-角膜又は結膜の潰瘍を生じる。呼吸器系-刺激。肺-咳、不快感、呼吸困難、又は息切れ等の一時的な刺激を生じる。（肺疾患の経験者は熱分解生成物の過剰な曝露による毒性の影響を受けやすい。

### [カーボンブラック]

#### 発がん性

IARCの分類が2Bであり、日本産業衛生学会の分類が2Bである。なお、ラットを用いた24ヶ月間の吸入試験に於いて、原発性肺腫瘍の発生率が用量に依存して有意に増加し、腫瘍の種類としては良性の腺腫、悪性の腺癌、扁平上皮癌と線扁平上皮癌などが見られ(EHC No.171(1996))、また、ラットを用いた43～86週間の吸入試験に於いては、43週間及び86週間投与群の腫瘍発生率がそれぞれ18%、8%であり、対照群に於いては、腫瘍の発生は認められなかったと報告されている。(IARC vol.65(1996))

#### 標的臓器／全身毒性(反復曝露)

カーボンブラック生産に携わる作業者を対象とした疫学調査は数多く実施されており、特に長期間(10年以上)ばく露されたヒトに於いて咳、痰、慢性気管支炎、肺機能障害、塵肺、肺気腫、肺血流障害、閉鎖性呼吸障害、気管支過敏症、気道抵抗と呼気流の低下など肺に特徴的な多くの症状が現れ(IARC vol.65(1996))、さらに胸部X線写真で微細なびまん性変化を示し、組織学的検査ではカーボンブラック微粒子の沈着と気腫に関連する細網線維形成が明らかになったこと(IARC vol.65(1996))が報告されている。以上のように、カーボンブラックの有害影響として職業ばく露による肺の変化または障害が多く、かつ特徴的である。

---

## 12.【環境影響情報】

分解性	: データなし
蓄積性	: データなし
魚毒性	: データなし

---

### 13.【廃棄上の注意】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って廃棄する。

処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(あるいは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。

焼却には、酸性の燃焼生成物を除去することができる焼却炉を必ず使用する。

---

### 14.【輸送上の注意】

国際規制	: 危険物に該当しない
国連分類	: 分類基準に該当しない
国連番号	: なし
容器等級	: 分類基準に該当しない
海洋汚染物質	: 分類基準に該当しない
国内規制	: 特になし
輸送の特定の安全対策及び条件	: 異物混入、水濡れ及び直射日光を防ぐためシートを掛ける等をする。バラ積みする場合は荷崩れを防ぐためできるだけ低くするか、固定する。

---

### 15.【関係法令】

消防法	: 適用外
化審法	: 対象化学物質を含有(第3項参照)
労働安全衛生法	: 名称を通知すべき有害物(第3項参照)
外国為替及び 外国貿易法	: 輸出貿易管理令第1の16項

---

### 16.【その他の情報】

引用文献	
〈製品〉	供給会社製品安全データシート Nite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

用途適応性 : 本製品は一般工業用向けに開発・製造されたものです。食品・医療・その他特殊な用途にご使用の場合は、貴社にてその用途での安全性をご確認の上、ご使用下さるようお願いいたします。

本データシートの記載事項は作成日において、各種文献を基に作成したもので、品質を保証するものではありませんので、ご使用に当たっては貴社のご使用条件における適合性をご検討ください。また、「安全データシート」の内容は法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

以上